

味の素株式会社

2014年3月期中間決算概要

1. 決算概要
2. 財政状態
3. セグメント別情報

2013年11月8日

取締役 常務執行役員 大野 弘道

AJINOMOTO® 1.(1) 決算概要

(単位: 億円)

	2013年 4~9月		2012年 4~9月		2014/3期 通期予想 (修正後)	進捗率	2013年 7~9月		2012年 7~9月	
	増減額	率	増減額	率			増減額	率	増減額	率
売上高	4,871	▲4%	5,059	▲4%	10,320	47%	2,450	▲4%	2,549	▲4%
国内食品	1,612	▲27%	2,212	▲27%	3,405	47%	833	▲27%	1,140	▲27%
海外食品	1,445	26%	1,148	26%	3,172	46%	729	28%	569	28%
バイオ・ファイン	1,118	15%	969	15%	2,383	47%	567	20%	471	20%
医薬	279	▲22%	359	▲22%	518	54%	111	▲37%	178	▲37%
その他	417	12%	371	12%	842	50%	210	10%	191	10%
営業利益	295	▲20%	369	▲20%	680	43%	151	▲14%	176	▲14%
国内食品	110	▲37%	173	▲37%	276	40%	57	▲31%	83	▲31%
海外食品	129	26%	102	26%	263	49%	67	33%	51	33%
バイオ・ファイン	39	▲46%	73	▲46%	94	42%	14	▲52%	29	▲52%
医薬	15	▲14%	18	▲14%	43	36%	11	1%	11	1%
その他	2	▲26%	3	▲26%	4	49%	2	▲45%	3	▲45%
経常利益	329	▲16%	393	▲16%	740	44%	165	▲10%	184	▲10%
中間(当期)純利益	222	▲46%	411	▲46%	480	46%	109	▲65%	311	▲65%
為替レート	円/USD	98.86	円/ユーロ	79.41	98.0					
	円/ユーロ	129.98		100.54	131.0					

注) 7~9月実績は、4~9月実績と4~6月実績との差(以下のスライドも同様)

※2014年3月期より提携事業等の純額表示(売上高と売上原価を相殺して純額にて売上高を計上する方法)導入に伴い以下の通り変更:

- ・対象: 国内食品の「調味料・加工食品」に含まれていたケロッグ製品、提携事業の「油脂」および「コーヒー類」
- ・旧「提携事業」セグメントを廃止。「油脂」「コーヒー類」を「その他」セグメントの「油脂・コーヒー」(純額表示)として組み換え。
- ・2013年3月期実績は上記変更を反映。(以下のスライドも同様)

AJINOMOTO® 1.(2) 決算のポイント

売上高は換算為替影響のプラス影響が継続するも、カルピス(株)株式売却影響等により減収。
営業利益は、飼料用アミノ酸の減益やカルピス(株)株式売却影響等により減益。

売上高・営業利益

(単位:億円)

2013年 4~9月	通期 進捗	前年 増減		2013年 7~9月	前年 増減
4,871	48%	▲4%	売上高	2,450	▲4%
3,136	-	4%	売上原価	1,581	4%
1,439	-	▲14%	販管費	718	▲15%
295	39%	▲20%	営業利益	151	▲14%

1. 為替影響 (対前年)

換算為替では、
中間期:売上高 453億円、営業利益 45億円
Q2:売上高 224億円、営業利益 19億円
主要法人の貿易為替は、
中間期:売上高 約25億円、営業利益 ▲約5億円
Q2:売上高 約15億円、営業利益 約0億円

2. 原燃料価格影響 (対前年)

中間期:発酵原燃料▲約10億円、国内食品原材料▲約22億円
Q2:発酵原燃料▲約4億円、国内食品原材料▲約15億円

3. コストダウン (対前年)

中間期:国内食品約15億円、医薬約9億円
Q2:国内食品約8億円、医薬約2億円

▲=損サイド

AJINOMOTO® 1.(3) 決算のポイント

経常利益

(単位:億円)

2013年 4~9月	通期 進捗	前年 増減		2013年 7~9月	前年 増減
34	-	42%	営業外収支	14	-
329	44%	▲16%	経常利益	165	▲10%

<中間期> (前年比)

特記無し

<Q2> (前年比)

特記無し

純利益

(単位:億円)

2013年 4~9月	通期 進捗	前年 増減		2013年 7~9月	前年 増減
37	-	▲87%	特別利益	24	▲92%
20	-	▲54%	特別損失	9	▲35%
85	-	▲57%	法人税等	51	▲60%
39	-	21%	少数株主利益	20	32%
222	45%	▲46%	純利益	109	▲65%

<中間期> (前年比)

- * 厚生年金基金代行返上益 0億円 (278億円減)
- * 関係会社株式売却益 23億円 (16億円増)
- * 投資有価証券評価損 0億円 (27億円減)
- * 関係会社整理損 7億円 (7億円増)

<Q2> (前年比)

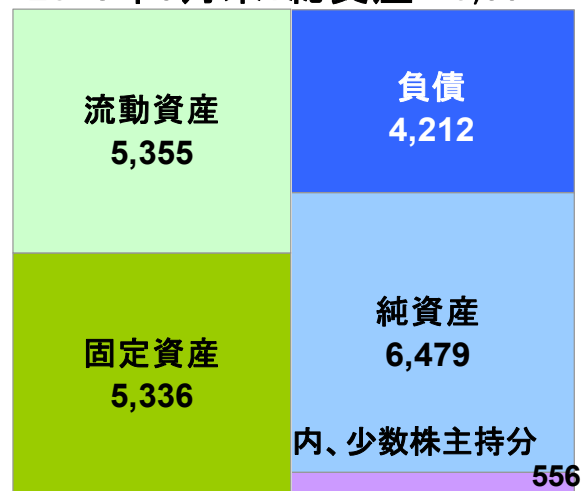
- * 厚生年金基金代行返上益 0億円 (278億円減)
- * 関係会社株式売却益 23億円 (22億円増)



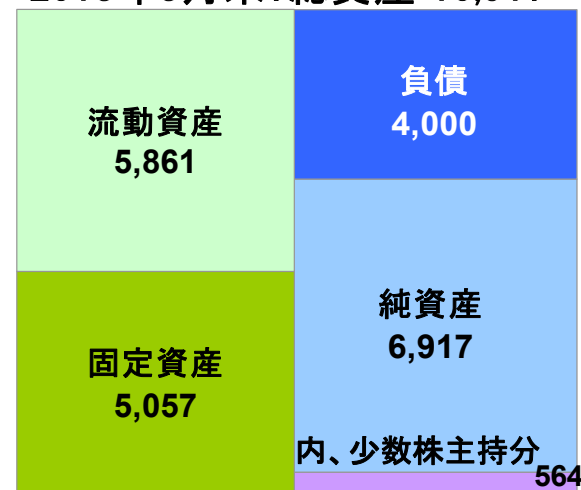
AJINOMOTO® 2. 財政状態

(単位:億円)

2013年9月末:総資産 10,691



2013年3月末:総資産 10,917



2013年3月末に比し総資産226億円減少:

- ・ 自己株式の取得による現金及び預金の減少
- ・ アルテア社の全株式取得による現金及び預金の減少

キャッシュフロー

(単位:億円)

	2013/9	2012/9	増減
①営業活動によるCF	196	319	▲ 124
②投資活動によるCF	▲ 374	▲ 304	▲ 70
③財務活動によるCF	▲ 227	▲ 544	317
④現金および現金同等物の残高	1,425	881	544
FCF(①+②)	▲ 178	15	▲ 193

※▲はキャッシュアウト

設備投資	288	323	▲ 36
減価償却費	225	211	15

有利子負債

(単位:億円)

<参考>

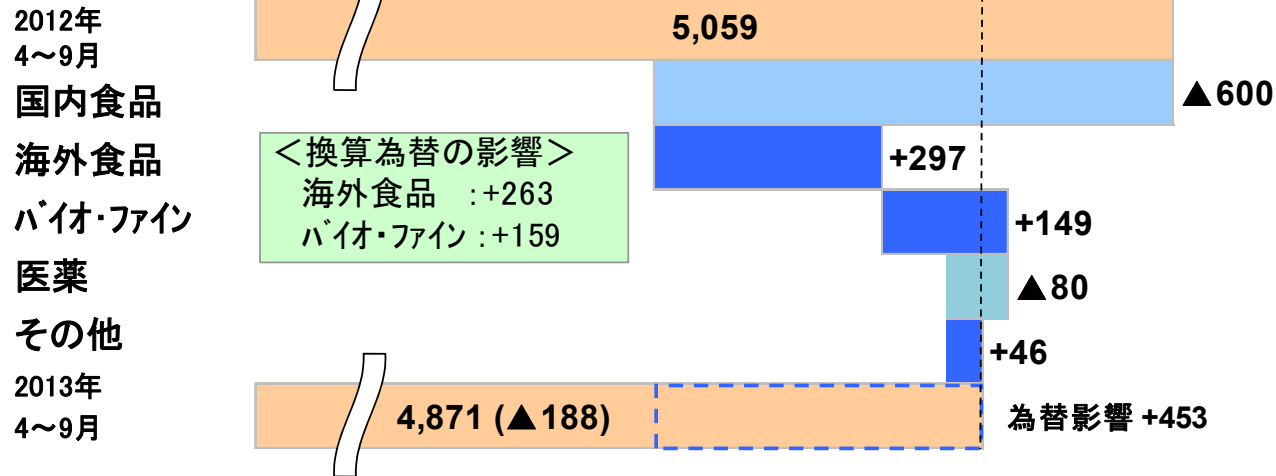
2013/9	2013/3	増減	2012/9
1,363	1,193	170	1,216



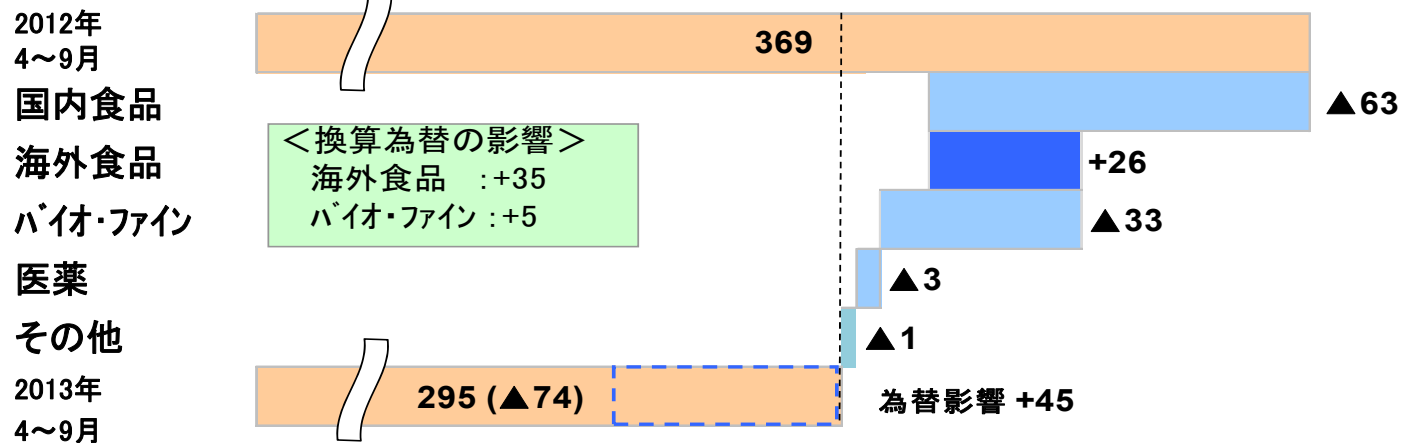
3.(1) セグメント別増減

(単位:億円)

売上高



営業利益



3.(2) 国内食品事業

2013年 4~9月	通期 進捗	2012年 4~9月	増減		<参考>		増減
					2013年 7~9月	2012年 7~9月	
1,612	47%	2,212	▲ 600	売上高	833	1,140	▲ 308
1,013	-	1,048	▲ 36	*1 調味料・加工食品	524	535	▲ 11
599	-	569	30	*2 冷凍食品	309	287	21
0	-	594	▲ 594	*3 飲料(「カルピス」)	0	318	▲ 318
110	40%	173	▲ 63	*4 営業利益	57	83	▲ 25
119	-	135	▲ 16	調味料・加工食品	61	60	1
27	-	44	▲ 17	冷凍食品	15	20	▲ 5
0	-	48	▲ 48	飲料(「カルピス」)	0	29	▲ 29
▲ 36	48%	▲ 55	18	全社共通費	▲ 19	▲ 27	8

*1 家庭用商品は堅調も、カルピス(株)株式売却に伴う飲料ギフト終売等により減収。

*2 国内は家庭用、業務用とも堅調。換算為替の影響と北米を中心とした海外販売が貢献し増収。

*3 2012年10月カルピス(株)株式売却。

*4 カルピス(株)株式売却影響、原材料価格上昇等により減益。

3.(3) 海外食品事業

2013年 4~9月	通期 進捗	2012年 4~9月	増減	<参考> (単位:億円)			
				2013年 7~9月	2012年 7~9月	増減	
1,445	46%	1,148	297	売上高	729	569	160
1,194	45%	931	262	*1 コンシューマーフーズ	610	462	147
252	48%	217	34	*2 加工用うま味調味料	120	106	13
129	49%	102	26	*3 営業利益	67	51	16
▲ 45	48%	▲ 39	▲ 6	全社共通費	▲ 23	▲ 19	▲ 5

<換算為替の影響> Q2 売上高:+127、営業利益:+16
4-9月 売上高:+263、営業利益:+35

- *1 換算為替の影響、うま味調味料「味の素」や風味調味料の増収等により増収。
- *2 販売単価は下落するも、換算為替の影響と数量増により増収。
- *3 *1に伴うコンシューマーフーズの増益により、加工用うま味調味料の販売単価下落による減益をカバーし全体で増益。
参考:コンシューマーフーズ+45、加工用うま味調味料▲12

3.(4) バイオ・ファイン事業

				<参考> (単位:億円)			
2013年 4~9月	通期 進捗	2012年 4~9月	増減		2013年 7~9月	2012年 7~9月	増減
1,118	47%	969	149	売上高	567	471	96
475	48%	452	22 *1	飼料用アミノ酸	238	220	18
394	-	301	92 *2	アミノ酸	203	147	56
223	-	193	30 *3	化成品	112	94	19
39	42%	73	▲ 33 *4	営業利益	14	29	▲ 15
9	29%	63	▲ 55	飼料用アミノ酸	1	25	▲ 24
21	-	19	2	アミノ酸	9	9	0
51	-	35	16	化成品	26	17	9
▲ 33	51%	▲ 29	▲ 4	全社共通費	▲ 17	▲ 14	▲ 3

<換算為替の影響> Q2 売上高:+82、営業利益:+1
 4-9月 売上高:+159、営業利益:+5

- *1 リジンの販売単価下落、数量減あるも換算為替の影響で増収。
 - *2 医薬用・食品用アミノ酸 +39、製薬カスタムサービス(旧: 医薬中間体) +46、甘味料 +8
 - *3 ケミカル、香粧品共に増収。
 - *4 化成品、医薬用・食品用アミノ酸等で増益も、飼料用アミノ酸等の減益をカバーできず全体では減益。
 参考: アミノ酸のうち医薬用・食品用アミノ酸+11、製薬カスタムサービス▲5、甘味料▲4
- ※ 製薬カスタムサービス事業: 第1四半期より味の素アルテア社の業績が当該事業に反映されています。

3.(5) 医薬事業

2013年 4~9月	通期 進捗	2012年 4~9月	増減		<参考> (単位:億円)			
					2013年 7~9月	2012年 7~9月	増減	
279	54%	359	▲ 80	*1	売上高	111	178	▲ 66
15	36%	18	▲ 3	*2	営業利益	11	11	0
▲ 8	53%	▲ 10	3		全社共通費	▲ 3	▲ 5	2

*1 自社販売品は7月からのエイワイファーマ(株)への輸液・透析事業移管、医療用食品の計上セグメント変更(医薬→その他)影響に伴い減収。

提携販売品は後発品を含む競合品伸長により減収。

味の素製薬(株)推定薬価ベース売上(前年同期比)

「リーバクト」76億円(99%)

「エレンタール」39億円(100%)

「アテレック」75億円(99%)

「アクトネル」51億円(86%)

「ファスティック」10億円(72%)

*2 コストダウン等あるも、提携販売品の減収により減益。

3.(6) その他事業

2013年 4~9月	通期 進捗	2012年 4~9月	増減		<参考> (単位:億円)			
					2013年 7~9月	2012年 7~9月	増減	
417	50%	371	46	*1	売上高	210	191	19
11	-	11	0		油脂・コーヒー	6	5	0
2	49%	3	▲ 1	*2	営業利益	2	3	▲ 1
11	-	10	0		油脂・コーヒー	5	5	0
▲ 15	48%	▲ 14	▲ 0		全社共通費	▲ 7	▲ 7	▲ 1

*1 医療用食品の計上セグメント変更(医薬→その他)影響、物流等で増収。

*2 健康ケア事業は増益も、物流事業の減益により減益。

AJINOMOTO® 3.(7) 事業別・地域別売上高

(単位:億円)

※ 上段:2013年4~9月実績、下段:2012年4~9月期実績
()内は増減額

	日本	アジア	米州	欧州	合計
国内食品	1,518 (▲617)	29 (▲1)	57 (17)	8 (1)	1,612 (▲600)
	2,134	30	40	7	2,212
海外食品	46 (▲1)	990 (219)	268 (53)	142 (26)	1,445 (297)
	47	771	214	116	1,148
ハイオ・ ファイン	323 (33)	90 (13)	355 (52)	350 (51)	1,118 (149)
	290	77	303	298	969
医薬	279 (▲80)				279 (▲80)
	359				359
その他	368 (39)	48 (7)	0 (0)		417 (46)
	329	42	0		371
合計	2,534 (▲626)	1,157 (237)	681 (123)	500 (79)	4,871 (▲188)
	3,160	920	558	421	5,059



AJINOMOTO® 3.(8) 事業別・地域別営業利益

(単位:億円)

※ 上段:2013年4~9月実績、下段:2012年4~9月期実績
 ()内は増減額

	日本	アジア	米州	欧州	地域外*	合計
国内食品	128 (▲88)	11 (5)	7 (3)	2 (0)	▲ 37 (17)	110 (▲63)
	216	6	4	1	▲ 54	173
海外食品	▲ 10 (5)	151 (27)	41 (11)	▲ 3 (▲8)	▲ 50 (▲8)	129 (26)
	▲ 15	124	30	5	▲ 42	102
バイオ・ファイン	58 (29)	4 (▲11)	0 (▲30)	14 (▲16)	▲ 37 (▲6)	39 (▲33)
	29	15	30	30	▲ 31	73
医薬	23 (▲5)				▲ 8 (3)	15 (▲3)
	28				▲ 10	18
その他	13 (▲2)	7 (4)	0 (0)	▲ 0 (0)	▲ 17 (▲3)	2 (▲1)
	15	3	0	▲ 0	▲ 14	3
全社共通費等*	▲ 76 (12)	▲ 37 (▲5)	▲ 21 (▲3)	▲ 15 (▲1)	▲ 149 (3)	
	▲ 88	▲ 33	▲ 17	▲ 14	▲ 152	
合計	136 (▲49)	135 (20)	28 (▲20)	▲ 3 (▲25)		295 (▲74)
	185	115	47	22		369

* 全社共通費、未実現利益消去等を含む。



AJINOMOTO® 3.(9) 事業別・地域別営業利益のポイント

2013年4～9月 対前年同期増減

1. 海外食品

日本:+5、アジア:+27、米州:+11、欧州: ▲ 8、地域外*: ▲ 8 計26億円

アジア 換算為替影響、コンシューマーフーズの増収で増加。

2. バイオ・ファイン

日本:+29、アジア: ▲11、米州: ▲30、欧州: ▲16、地域外*: ▲6 計▲ 33億円

日本 化成品(ケミカル)、医薬用・食品用アミノ酸等で増加。

米州 飼料用アミノ酸等で減少。

* 全社共通費、未実現利益消去等を含む。

おいしさ、そして、いのちへ。

Eat Well, Live Well.

AJINOMOTO®

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。
- 本資料には、監査を受けていない参考数値が含まれます。
- 本資料の金額は、四捨五入で表示しております。